

平成26年度佐倉市当初予算（案）の概要

1. 財政見込み

・市税総額は増加 +2.7 億円

個人市民税はほぼ横ばい、法人市民税は、増額を見込む(+0.7 億円)、固定資産税は新築家屋の増加により増額(+1.8 億円)、都市計画税も増額(+0.3 億円)

・地方交付税などの国、県からの交付金 +2.8 億円

- ・消費税の税率改正により、地方消費税交付金は 3.5 億円の増額を見込む。国の地方交付税総額は地方財政計画の中で前年比1%減が示されたため、前年比 1 億円減の 21 億円と見込む。総額としては、地方消費税交付金増額の影響により国県からの交付金関係は 2 億 7,500 万円の増額を見込む。
- ・臨時財政対策債は地方財政計画により前年比 1 億円増の 22 億円を見込む

・義務的経費（人件費、扶助費、公債費）は増加 +7.7 億円

- ・障害者支援関係扶助費(+0.6 億円)は増加しているが、生活保護費は制度改正により若干の減少(△0.2 億円)。また消費税率の引き上げにともない交付される「臨時福祉給付金 +4.8 億円」、「子育て世帯臨時特例給付金 +2.1 億円」が新規に増加。扶助費全体では、+8.4 億円。
- ・人件費は、時間外勤務手当、任期付職員の増などにより+1.9 億円
- ・公債費は当該年度の償還額が減少(△2.6 億円)

・公共施設の耐震化や道路の整備などの普通建設事業費は増額 +33.8 億円

- ・小中学校の耐震化・改修 23.3 億円（前年比 +15.6 億円）
- ・本庁舎の耐震改修 5.4 億円（前年比 +2.7 億円）
- ・志津公民館整備 10.8 億円（前年比 +8.8 億円）
- ・都市計画道路や公園整備など土木費関係 10.9 億円（前年比 +3.1 億円）

・その他

- ・財政調整基金現在高は H25 年度末見込みで約 69 億円。（前年度比△5 億円）H26 年度当初予算では財政調整基金からの繰入れは約 31.5 億円を見込んでおり、H25 年度当初予算の繰入れより 13.3 億円の増加。
- ・国の経済対策に伴う補正予算に併せ、H26 年度当初予定の事業の一部前倒し(7 億円)

2. 基本方針

・持続可能な佐倉市財政の確立を目指す

- ・中長期的な視点から財政基盤の強化を図り、持続可能な財政の確立を目指す。経常的経費のうち義務的（準義務的）経費は所要額を計上し、また通常一般経費は、部局ごとに要求上限額を設定し、消費税の改正や、労務単価の上昇などに伴う歳出増は部局内で調整しできるだけ抑制する。
- ・臨時的経費は、実施計画に計上された事業費を基本とし、国庫補助金などの財源の確保に努め、また、経費の積算においてもコスト削減に努め、一般財源の持ち出しは極力抑制する。

・総合計画・市政マニフェストで示した重点施策を推進する。

- ・市民の安心・安全を確保するため、学校や庁舎の耐震、水害対策など、防災対策を優先して実施。
- ・定住人口の維持、増加など選ばれるまちづくりを推進するため、子育て支援や福祉・教育の充実、また、経済活性化や都市基盤整備など将来を見据えた取り組みを進める。

3. 予算規模

・一般会計 473 億 4,400 万円（+11.8%）前年度比 49 億 9,700 万円の増額

・特別会計 313 億 6,672 万 5,000 円（+7.8%）前年度比 22 億 8,304 万 7 千円の増額

- ・国民健康保険特別会計(+9.1 億円)、介護保険特別会計(+12.3 億円)は給付費の増加に伴い増額。
- ・下水道事業特別会計は地方公営企業へ移行したため計算から除外(△28.2 億円)

4. 一般会計の主な事業

①議会・総務費関係 議会費 4 億 1407 万 6 千円、総務費 59 億 8340 万 6 千円

庁舎の耐震改修、市営自転車駐車場の改修を実施予定。

- ・市制施行 60 周年記念式典事業(177 万 7 千円)・記念式典の開催 (P.6)
- ・本庁舎保全事業(5 億 3825 万 2 千円)・市庁舎の耐震工事等 (P.10)
- ・市営自転車駐車場整備事業(4637 万 8 千円)・志津駅南口の自転車駐車場の補強工事等 (P.10)
- ・防災施設整備事業(3121 万 4 千円)・防災行政無線のデジタル化、防災井戸の整備等 (P.9)
- ・ご当地ナンバー発行事業(55 万 1 千円)・H26 年 4 月から発行 (P.7)

②民生費・衛生費関係 民生費 177 億 2484 万円、衛生費 41 億 6103 万 1 千円

高齢者福祉や子育て支援の充実を引き続き推進、児童センター・学童保育所を指定管理者に移行。主な新規事業として臨時福祉給付金及び子育て世帯臨時特例給付金支給、グループ型小規模保育事業、任意予防接種の拡充、公立保育園民営化事業など。

- ・臨時福祉給付金支給事業(5 億 2098 万 4 千円)・消費税の増税に併せて給付金を支給 (P.12)
- ・子育て世帯臨時特例給付金支給事業(2 億 4875 万 1 千円)・消費税の増税に併せて給付金を支給 (P.16)
- ・病児・病後児保育事業(3045 万 6 千円)・保育園等に通う児童を対象として病気回復期の預かりを実施(P.14)
- ・家庭保育運営事業(2335 万 7 千円)・グループ型小規模保育事業の実施 (P.14)
- ・公立保育園民営化事業(1 億 7055 万 9 千円)・保育園の民営化に向けて、新園舎整備に対する助成等 (P.14)
- ・学童保育所施設整備事業(889 万円)・新規学童保育所の設計委託等 (P.15)
- ・感染症等予防事業 (860 万 3 千円)・任意予防接種としておたふくかぜワクチンの助成を新規に開始(P.17)

③農林水産業費・商工費関係 農林水産業費 3 億 7971 万 8 千円、商工費 4 億 3326 万 1 千円

地域の活性化を進めるための取組みを拡充。市制施行 60 周年記念事業としてプレミアム商品券助成。

- ・6 次産業化事業(407 万円)・農産物等の付加価値化の支援 (P.20)
- ・企業誘致事業(1 億 3410 万 1 千円)・企業誘致を促進するため、助成金を交付 (P.20)
- ・プレミアム商品券発行事業(2000 万円)・商工会議所が発行する商品券の経費の一部を助成 (P.20)

④土木費・消防費関係 土木費 35 億 8369 万 2 千円 消防費 27 億 778 万 9 千円

選ばれるまちづくりを進めるため基盤整備など将来に向けた取組みを進める。継続して実施している都市計画街路の整備のほか、主な新規事業として岩名運動公園野球場の改修に伴う設計など。また勝田台・長熊線は年度内の開通に向けて整備を進める。

- ・馬渡・萩山線道路改良事業(661 万 5 千円)・路線変更にともなう測量。(P.22)
- ・調整池改修事業(7949 万円)・台風で被害のあった調整池の改修工事等 (P.21)
- ・寺崎・石川線外 2 路線道路改良事業(756 万円)・地質調査の実施 (P.23)
- ・井野酒々井線外 1 路線道路改良事業(1 億 9499 万 9 千円)・橋梁部分の整備工事、用地購入等 (P.23)
- ・勝田台・長熊線整備事業(2 億 6305 万 2 千円)・移転の補償費、道路整備工事等 (P.25)
- ・都市排水路改修事業(3324 万円)・台風で被害のあった地区の排水ポンプ整備等 (P.21)
- ・岩名運動公園拡張整備事業(7527 万円)・長嶋茂雄記念岩名球場改修の設計委託等 (P.24)
- ・消防団施設等維持整備事業(7733 万 3 千円)・消防団機庫の建替え、消防車両の購入等 (P.26)

⑤教育費関係 教育費 81 億 8792 万 6 千円

小中学校耐震化の推進、志津公民館等複合施設整備、インクルーシブ教育などハード、ソフト両面での教育の充実。

- ・小学校施設改築・改造費(19 億 8697 万 9 千円)・佐倉小など 13 校の工事及び耐震補強設計等 (P.27)
- ・中学校施設改築・改造費(4 億 873 万 8 千円)・臼井中など 2 校の工事及び耐震補強設計等(P.27)
- ・インクルーシブ教育推進モデル事業(1324 万 7 千円)・コーディネーターの雇用など言語教育の充実 (P.29)
- ・志津公民館整備事業(10 億 8474 万円)・複合施設の改築工事 (P.30)
- ・市民音楽祭事業(101 万 3 千円)・市制施行 60 周年記念式典において市民音楽祭を開催 (P.31)
- ・埋蔵文化財収蔵施設整備事業(1047 万 8 千円)・文化財の収蔵庫をリースする (P.30)
- ・小学校給食施設整備事業(1 億 8077 万 4 千円)・佐倉小学校給食室の大規模改修工事 (P.29)